

2021 年 4 月 13 日

2021 年 3 月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判は学参関連に重版の動きが見られたものの、昨年コロナで下落した受注の回復には至らず前年を下回った。

巻取は生損保関連、金融関連、不動産関連での受注量の減少と、納期の延期案件が散見され前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 94.2% 巻取 82.1%）

再生紙は平判、巻取共に官公庁関連の受注減少が続いている上、以前から継続していた年度末の冊子や目録などがコロナ禍で発行されなくなり前年を大幅に下回った。

（前年比 再生上質平判 88.8% 再生上質巻取 52.0% 再生上質計 75.4%）

（前年比 印刷用紙 A 91.7%）

<A2 コート>

各企業で保留になっていた新年度向けのカatalogで一部新規の動きがあったが、各業界においてコロナ禍での自粛が継続されており、各種イベントの中止、延期で印刷物全般の需要が大きく減少した。

グロスの巻取と再生の平判、巻取については、出版、官公庁関連で新規案件の動きがあり前年を上回ったが、全体では前年を下回った。

（前年比 平判 92.5% 巻取 103.0% 全体 94.8%）

<A3 コート>

学習塾、食品スーパー、ドラッグストア等の定期的なチラシ案件と株主招集通知、医療案件で一部新規の動きがあったが、継続的な紙離れとコロナ禍の影響により前年を下回った。

（前年比 平判 68.9% 巻取 108.1% 全体 92.1%）

<ノーカーボン紙>

平判は金融関連、その他一般の帳票関連の動きも弱く前年を下回った。

巻取も生損保、金融関連、コロナワクチン接種の需要も一部見られたが、全体的な動きは弱く前年を下回った。

（前年比 平判 89.5% 巻取 94.2%）

<上質フォーム>

生損保、金融、官庁関連の納付書をはじめ一部マイナンバー案件の需要もみられ、年度末需要も堅調に推移したが、特需的な動きは見られず前年を若干下回った。

（前年比 99.3%）

<包装用紙>

特殊両更は官公庁関係、コロナワクチン用の需要が一部有ったものの、一般企業向け事務用封筒などに動きが見られず前年を大きく下回った。

(前年比 84.7%)

軽包装は製本会社向け雑包装用途と、その他包装用途の回復が見られた。また一部で脱ブラによる紙袋への移行もあり前年を上回った。

(前年比 119.3%)

片艶晒は角底袋、手提げ袋、店舗向けの包装紙に多少の回復が見られ前年を上回った。

(前年比 106.0%)

両更晒はコロナワクチン用封筒で特需があり前年を上回った。

(前年比 110.2%)

純白ロールはお彼岸の生花向けに動きは見られたが例年ほどではなかった。また土産品の包装紙などは依然回復せず前年を大きく下回った。

(前年比 84.5%)

包装紙全体では109.3%と前年を上回った。

<板紙>

コートボールは食品、医薬品、日用品と全般的に荷動きが低調であった。

高板は出版が堅調も商印やPOPが低調であった。

特板は菓子類やテイクアウト向けに動きが見られた。

チップボール、パッケージ向けは依然低調も課題図書に動きが見られた。

緊急事態宣言の影響を受けたものの全体的には前年並みとなった。

(前年比 100.5%)